



市場動向

2020

目次

1.0	CEOご挨拶	3
2.0	Bluetooth SIGについて	4
3.0	『Bluetooth市場動向2020』について	5
4.0	コミュニティ	6
4.1	メンバーシップ	7
4.2	仕様策定	8
4.3	出荷	9
4.4	バージョン別出荷台数	10
4.5	メッシュネットワークの採用	11
4.6	LE Audioのイノベーション	12

5.0	ソリューション	13
5.1	市場ニーズに応える各種ソリューション	14
5.2	オーディオストリーミング	15
5.3	データ転送	16
5.4	位置情報サービス	17
5.5	デバイスネットワーク	18
5.6	ソリューション分野別出荷台数	19
6.0	市場	20
6.1	スマホ、タブレット、PC	21
6.2	オーディオ&エンターテインメント	23
6.3	自動車	25
6.4	コネクテッドデバイス	27
6.5	スマートビルディング	29
6.6	スマートインダストリー	31
6.7	スマートホーム	33
6.8	スマートシティ	35

CEOご挨拶



Bluetooth SIGのメンバー企業コミュニティは、新しい市場トレンドを形作るイノベーションの実現に毎年懸命に取り組み、ワイヤレスオーディオ、ウェアラブルデバイスから、位置情報サービス、デバイスネットワークまで、一般消費者、商業、産業向け用途のニーズに応え続けています。

Bluetooth®は現在、メンバー企業コミュニティの絶え間ない尽力によりスマートビルディングやスマートホームで確固たる地位を築き、各市場の主要企業がBluetooth meshネットワークを商業用・家庭用オートメーション製品に組み込む戦略を採用しています。メンバー企業コミュニティでは、オーディオ体験を拡張する取り組みも継続しています。Bluetooth LE AudioのリリースをはじめとするBluetoothのオーディオ、エンターテインメントソリューションの最近の進歩は、Bluetooth技術が市場に及ぼす大きな力を証明するものです。

そのような素晴らしいコミュニティの一員であることを光栄に思います。

Bluetooth SIG | CEO | **Mark Powell**

Bluetooth SIGについて

1998年に設立されたBluetooth SIG (Special Interest Group) は、世界の一流企業から構成されるメンバー企業間でBluetooth技術を取りまとめる非営利事業者団体です。

米国ワシントン州カークランドに本拠地を置き、ケーブルから解放されたコネクテッドな世界の構築に向けて、メンバー企業との共同作業を通じてシンプル、柔軟、セキュアなワイヤレス通信ソリューションの実現と進化に取り組んでいます。

Bluetooth SIGの3つの活動：



仕様策定

Bluetooth技術の機能拡大

メンバー企業の共同作業を取りまとめ、Bluetoothの新規・拡張仕様を策定します。

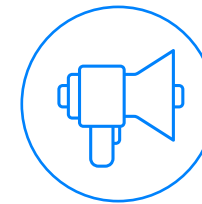


認証

Bluetooth対応デバイスの

相互運用性を推進

世界クラスの認証製品プログラムを通して、メンバーにBluetooth技術を提供し、商標ライセンス契約を行っています。

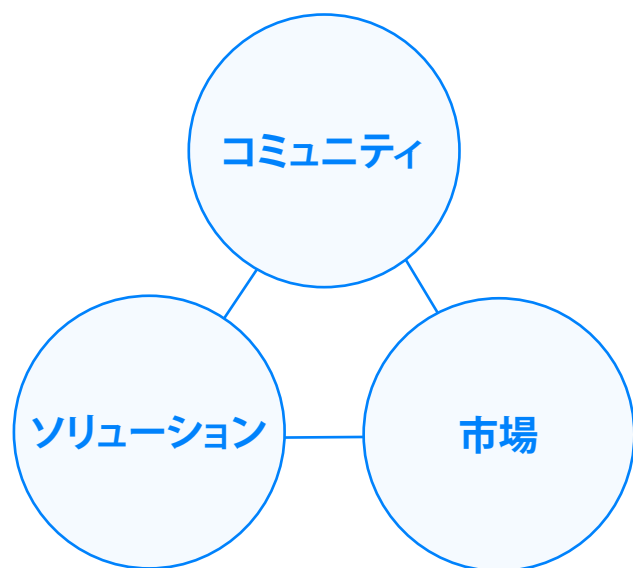


普及

Bluetoothブランドの発展

Bluetooth技術の認知、理解、採用の促進を通して、Bluetoothの発展を図ります。

『Bluetooth市場動向2020』について



Bluetooth SIGメンバーコミュニティは、Bluetooth技術の拡張に取り組み続け、接続に関して新しく出てきた課題を解決し、新たに生まれる市場がもたらす機会を探ります。

『Bluetooth市場動向2020』では、ABIリサーチ社の最新の予測および他の調査会社の知見に基づき、以下の点を検証します。

- Bluetooth SIGメンバー企業**コミュニティ**の発展状況・現在の状況
- 主なBluetoothワイヤレス**ソリューション**分野のトレンドと予測
- Bluetoothの業界別**市場**における新しいトレンド、予測、機会

『Bluetooth市場動向2020』は、世界各地でIoT (Internet of Things)に関する意思決定を行う方々に対し、Bluetooth技術が各技術ロードマップや市場で果たしうる役割に関する最新情報を提供するものです。

『Bluetooth市場動向2020』で示されたトレンドは、Bluetooth技術がパーソナルコミュニケーション向けのソリューションから、産業グレードの接続を支える存在になっていく行程で、Bluetooth SIGのメンバー企業コミュニティが向かう方向を照らし出します。

数値はABIリサーチ社によります。参考データ：Bluetoothのデータセット (2019年Q4)、「Wireless Connectivity」(2019年Q4)、「Mobile Accessories and Wearables」(2019年Q4)、「Indoor Location RTLS」(2019年Q2)、「Connected Car」(2019年Q4)、「Building Automation Internet of Things Endpoint Electronics and Communications Revenue」(2019年7月)、「Research and Markets」(2019年)、「5 Ways Smart Cities Are Getting Smarter」(2019年11月)。各予測は出荷を確約するものではありません。



Bluetoothはワイヤレス接続技術であるだけでなく
コミュニティでもあります

コミュニティ

メンバーシップ

成長

協力

出荷

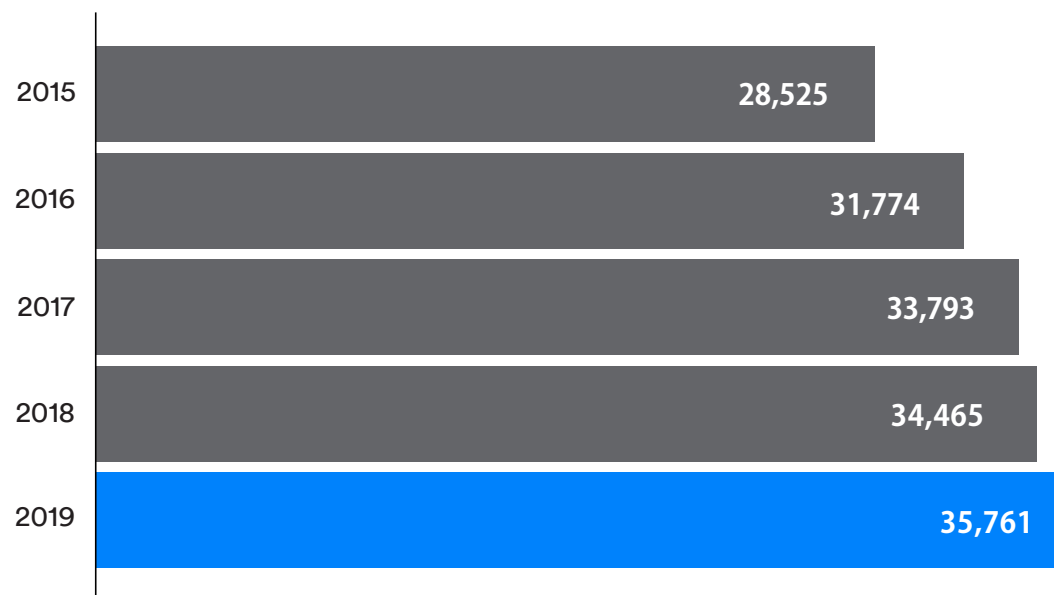
採用

イノベーション

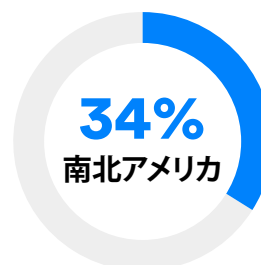
Bluetooth SIGメンバー企業コミュニティは順調に拡大を続けています。

現在では35,000社が世界の各地域に広がり、Bluetooth技術が真にグローバルな存在であることを示しています。

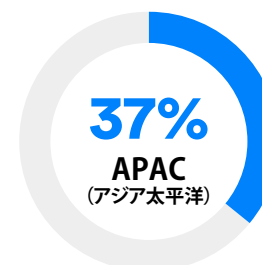
Bluetooth SIGメンバー企業数



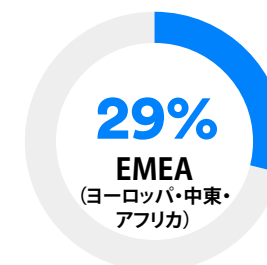
2019年の地域別SIGメンバー企業数



12,219社



13,136社



10,406社

メンバーシップについて
詳しくはこちら

仕様策定

成長

協力

出荷

採用

イノベーション

Bluetooth技術がIoTを実現するワイヤレスの世界標準となったのには、Bluetooth SIGのワーキンググループと委員会の存在があります。メンバー企業の努力と協力が、Bluetooth技術の絶え間ないイノベーションを推進しています。

ワーキンググループは仕様に命を吹き込む Bluetooth SIGの基盤

14

ワーキング
グループ数

80

活動中の
仕様プロジェクト数

2,089

2019年のワーキンググループ・委員会の
新規参加者数

ワーキンググループについて
詳しくはこちら

出荷

成長

協力

出荷

採用

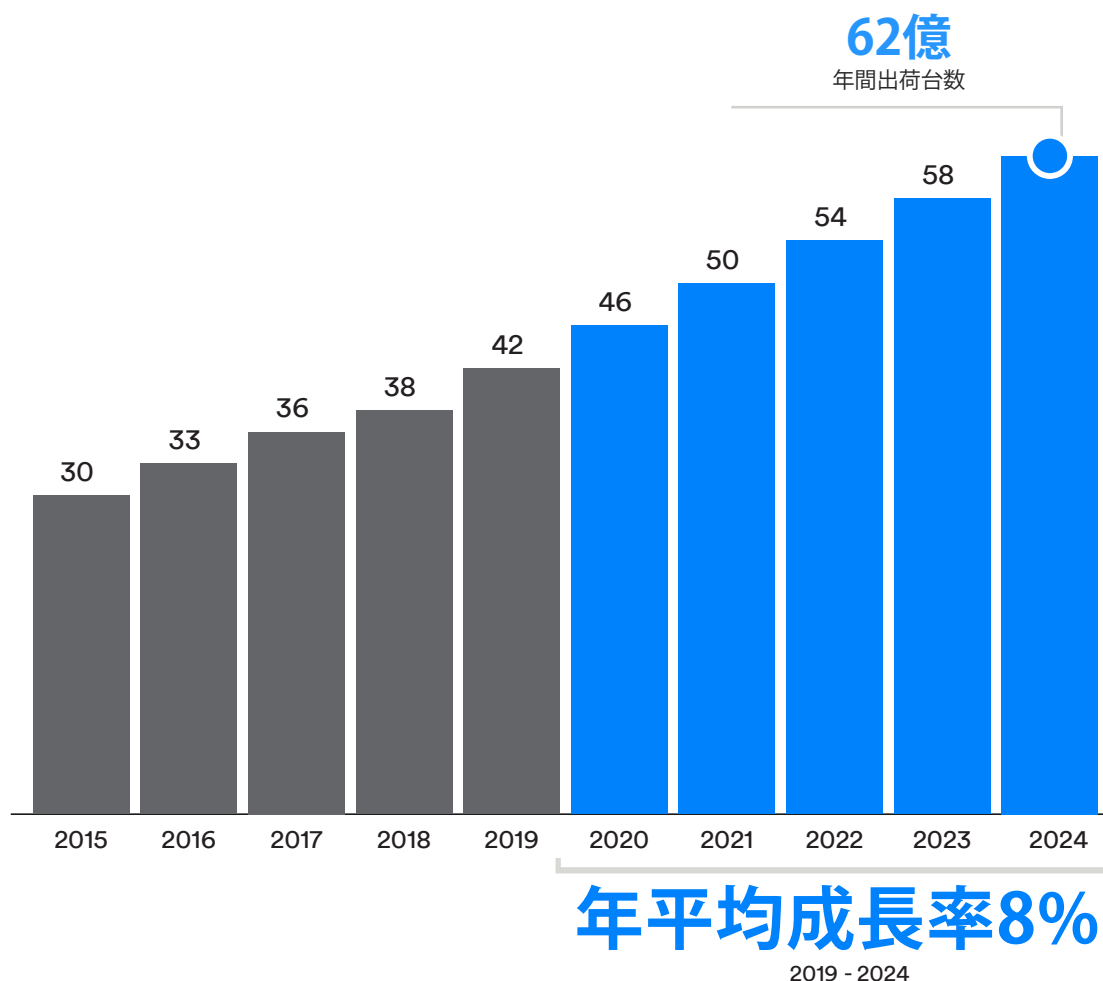
イノベーション

熱心なメンバー企業コミュニティに支えられ、Bluetooth技術は20年以上にわたり、高まり続けるワイヤレスイノベーションへの要求に応え続けてきました。

1998年の登場以来、Bluetooth対応デバイスの出荷台数は増加を続け、その勢いに衰えは見られません。2024年には、Bluetooth対応デバイスの年間出荷台数は60億台を超えると予想されています。

Bluetoothデバイスの年間総出荷台数

単位: 億台



バージョン別出荷台数

成長

協力

出荷

採用

イノベーション

75億

2020年～2024年に出荷される
Bluetooth LEシングルモードの
累積出荷台数

Bluetooth LEは市場の 新しいスタンダードに

急激に拡大を続けているBluetooth LEは、年平均成長率26%でBluetoothの無線技術の中でも最も急速に成長しています。



プラットフォームデバイスは デュアルモードを標準搭載

さまざまなBluetooth対応デバイスとの接続のため、2024年に出荷されるすべてのプラットフォームデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン）がBluetooth無線の両バージョンに対応すると予想されています。

3倍

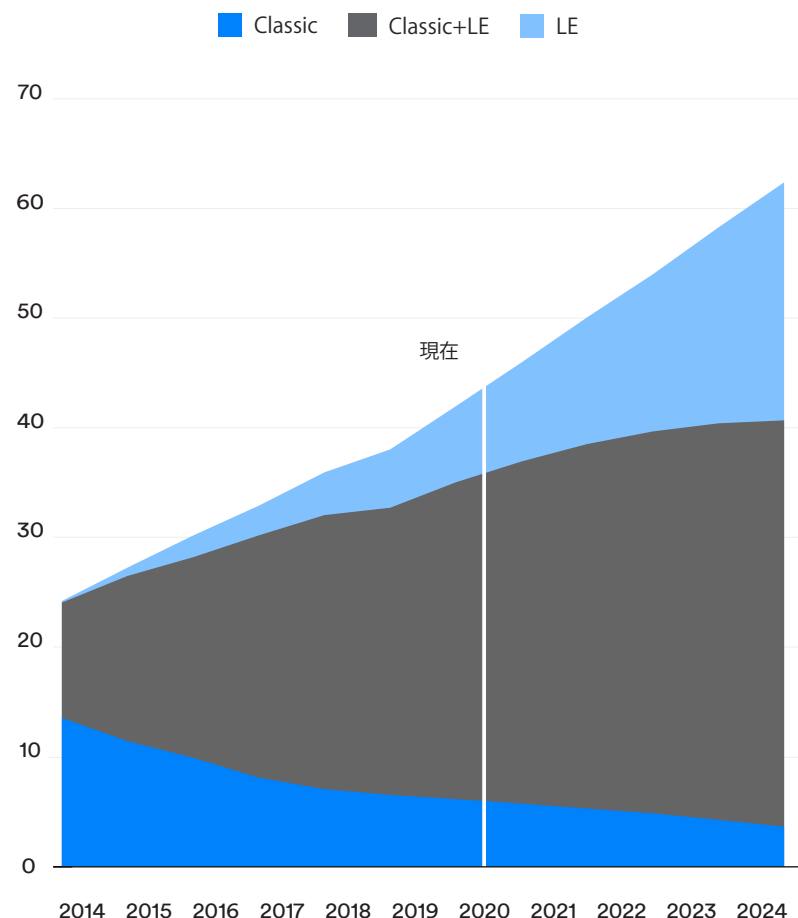
2024年には
Bluetooth LEシングルモードデバイスの
年間出荷台数は3倍に

2024年の年間出荷台数の35%は LEシングルモードデバイス

先日のLE Audioのリリースを受け、Bluetooth LEシングルモードデバイスの出荷台数は今後5年のうちに3倍に増える見込まれています。

Bluetoothデバイスの バージョン別出荷台数

単位：億台



メッシュネットワークの採用

成長

協力

出荷

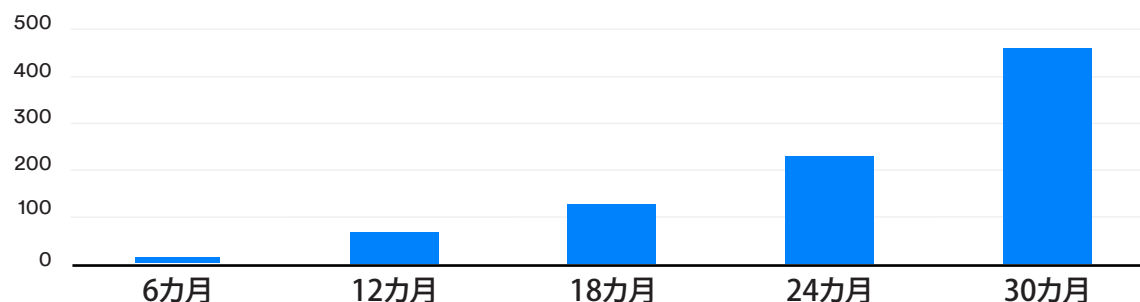
採用

イノベーション

リリース以来、Bluetooth meshネットワークは大規模なデバイスネットワークに最適であると選ばれ、スマートビルディングやスマートインダストリーからスマートホーム、スマートシティまで、新興市場の発展に極めて重要な役割を果たしています。

**Bluetooth
meshネットワークについて
詳しくはこちら**

Bluetooth mesh認証製品は6カ月ごとに倍増



ホームオートメーション

Bluetooth meshネットワークは、明日のスマートホームのオートメーション化に重要な役割を果たしています。AlibabaやXiaomi等、ホームオートメーションの主要プラットフォームにも採用されているBluetooth meshネットワークは、家庭内デバイスネットワークにおいて拡大する需要を支えています。

商業用照明

Osram、村田製作所、Zumtobel、McWong、Delta Electronics、Hytronik、Leedarson Lighting、Fulhamをはじめとする多くの商業用照明制御システムが、建物の中樞神経として機能することのできる大規模デバイスネットワークをBluetooth meshネットワークで構築しています。小売業や観光業、企業内において先進的な照明制御を実現するために使用されるこれらのシステムは、道案内や資産追跡等の先進的なビルサービスを可能にするプラットフォームともなります。

LE Audioのイノベーション

成長

協力

出荷

採用

イノベーション

Bluetooth SIGのメンバー企業コミュニティは、オーディオを変革してきた実績にない、Bluetoothの次世代音声規格「LE Audio」を公開しました。LE AudioはBluetoothのオーディオ品質を向上させ、補聴器機能をサポートするほか、私たちのオーディオ体験と、私たちと周囲の世界とのつながり方に再び変革をもたらす可能性を秘めた、革新的な新機能「オーディオシェアリング」も新しく導入します。

LE Audioについて
詳しくはこちら



LC3

データ転送速度が低くても高い品質を実現できる新オーディオコーデック「LC3」*は開発時の柔軟性が極めて高く、重要な製品要素間でのトレードオフがよりうまく設計できます。



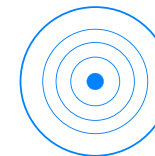
マルチストリーム

LE Audioは複数の独立したオーディオストリームを同期送信でき、高品質の完全ワイヤレスイヤホンを実現するための標準的なアプローチを提供します。



補聴器

LE Audioは低電力、高品質、マルチストリーム機能でBluetooth対応補聴器の開発を推進し、増加しつつある難聴の人々を支援します。



ブロードキャスト

ブロードキャストオーディオ機能により、1つのオーディオソースが無制限の数のオーディオシンクにオーディオストリームをブロードキャストできます。オーディオシェアリングをはじめとする新しいイノベーションの可能性を広げます。

*LC3 - Low Complexity Communication Codec (低複雑性通信コーデック)



Bluetooth技術は接続の可能性を証明し
市場のニーズに応じて拡張を続けます

ソリューション

市場ニーズに応える各種ソリューション

オーディオストリーミング

データ転送

位置情報サービス

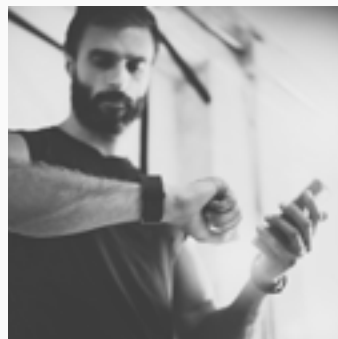
デバイスネットワーク

Bluetooth技術はフルスタックで目的に合ったソリューションを提供し、ますます拡大を続けるワイヤレス通信のニーズに応えます。オーディオストリーミングから始まったBluetooth技術は低消費電力データ転送へと範囲を広げ、現在では位置情報サービスや大規模デバイスネットワークのニーズにも応えています。



オーディオストリーミング

Bluetooth技術はケーブルのわずらわしさを取り除いてオーディオに変革をもたらし、私たちのメディア視聴を永遠に変えました。LE Audioの登場で、Bluetooth技術はまたもや私たちが世界を体験し、周囲とつながる方法を大きく変えようとしています。



データ転送

家電からフィットネストラッカー、ヘルスセンサーや革新的な医療機器まで、Bluetooth技術は日常生活で使われる数十億のデバイスをつなぐと共に、新たな発明を可能にします。



位置情報サービス

Bluetooth技術はPOI情報や探し物発見等の近接通信ソリューション、資産追跡や道案内のための測位システムの開発に選ばれています。



デバイスネットワーク

Bluetooth meshネットワークは、数十、数百、数千のデバイスが確実かつ安全に通信する必要のある、制御・監視・オートメーションシステムの構築に最適です。

オーディオストーリーミング

オーディオストーリーミング

データ転送

位置情報サービス

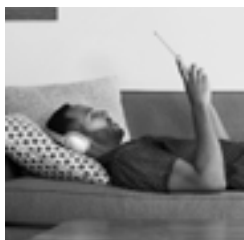
デバイスネットワーク



話す — Bluetoothのおかげで、イヤホンから車、業務用ヘッドセットまで、ケーブルに気を取られたり制約されたりすることなく、より安全、便利に会話することができます。



聴く — 外出先のヘッドセット、自宅のHi-Fiスピーカー、ビーチのポータブルスピーカー等で、Bluetoothは私たちの生活で音楽が果たす役割を永遠に変えてしまいました。



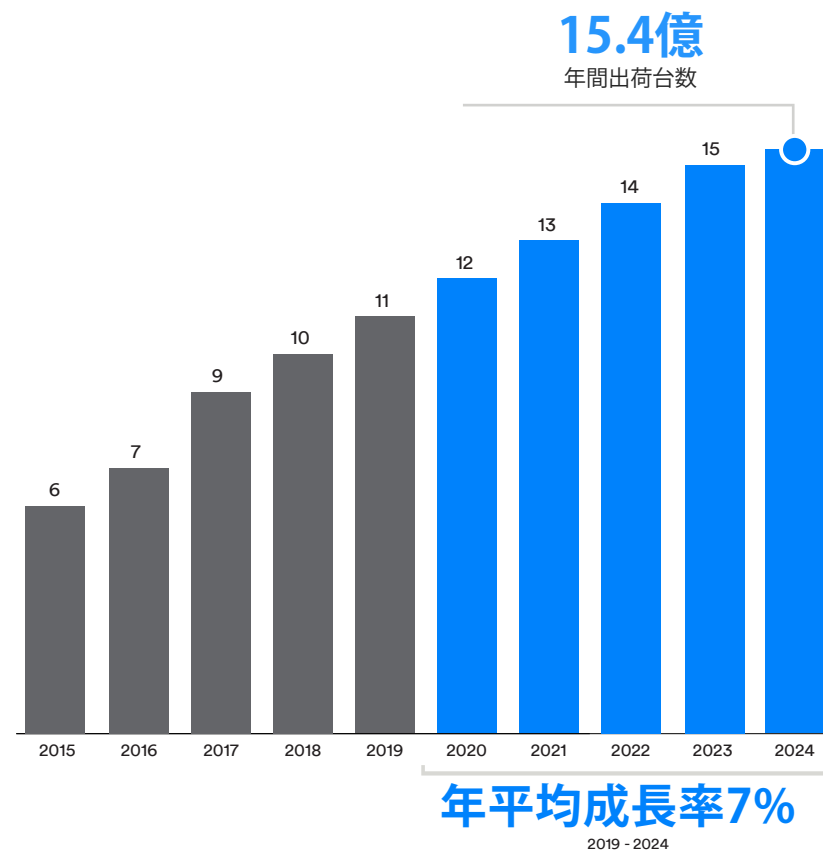
見る — 外出先でも自宅でも、Bluetoothのヘッドホン、イヤホン、スピーカー、サウンドバー等はオンデマンド動画視聴をサポートしてくれる強い味方です。



制御する — Alexa、Siri、Cortana、DuerOS等アシスタントの名前は違っても、使い方は同じ。スマートスピーカー、自動車、家電をはじめとするさまざまな機器に音声コマンド機能が搭載されています。

Bluetoothオーディオストーリーミング機器の年間出荷台数

単位:億台



データ転送

オーディオストリーミング

データ転送

位置情報サービス

デバイスネットワーク



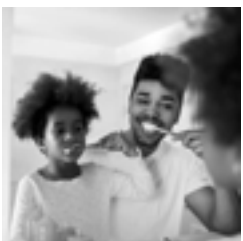
スポーツ& フィットネス — Bluetooth技術は歩数、運動、活動、睡眠の記録に使用するフィットネストラッカーやスマートウォッチ等のウェアラブルデバイスを支えています。



ヘルス& ウェルネス — 血圧計から持続血糖測定器まで、Bluetooth技術はより簡単に健康に関する数値を記録し、ケアの質向上に役立ちます。



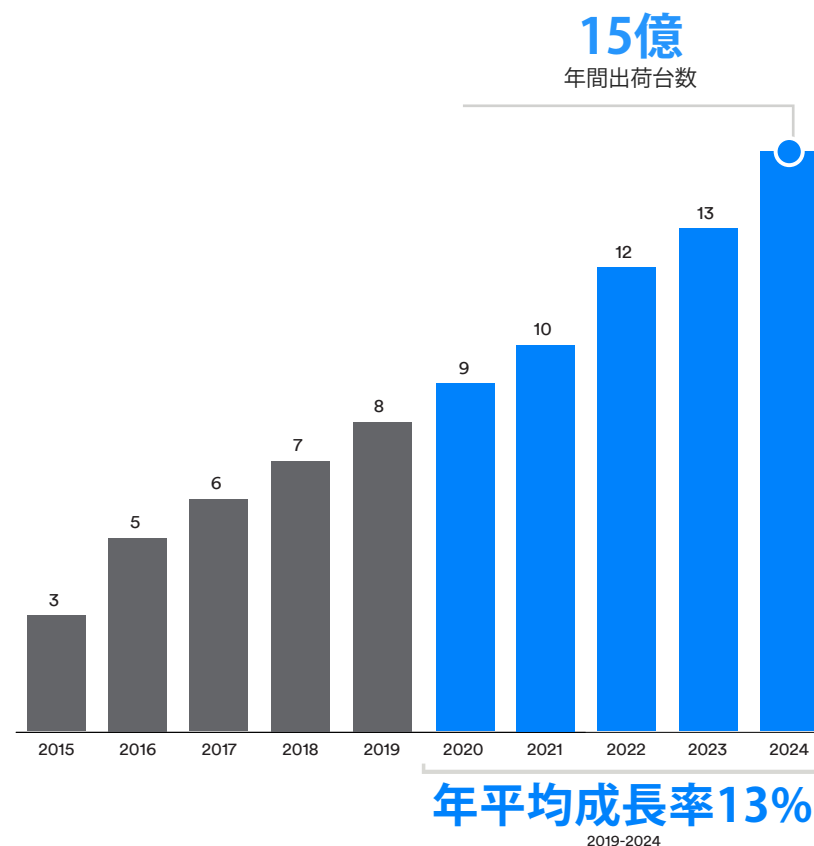
入力&操作 — Bluetooth技術の普及の背景にあるのが、ケーブルからの解放。キーボード、トラックパッド、マウスのどれであっても、有線でなければつながらないということはもうありません。



IoT — ツール、おもちゃ、歯ブラシ等。どのような機器でも、データを収集して活用できる情報に変換できることはメリットになります。

Bluetoothデータ転送機器の年間出荷台数

単位: 億台



出典: ABIリサーチ2020年

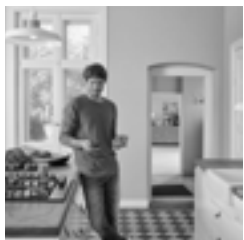
位置情報サービス

オーディオストリーミング

データ転送

位置情報サービス

デバイスネットワーク



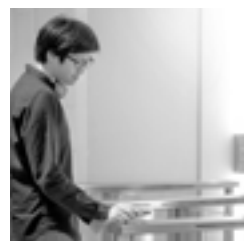
探し物発見 — なくしたときに探せるように、鍵や財布等の貴重品にBluetoothタグを付ける人が増えています。



資産追跡 — Bluetooth技術により、生産性向上とコスト削減のための資産や在庫の追跡に使用されるリアルタイム位置情報システム (RTLS) が急成長しています。



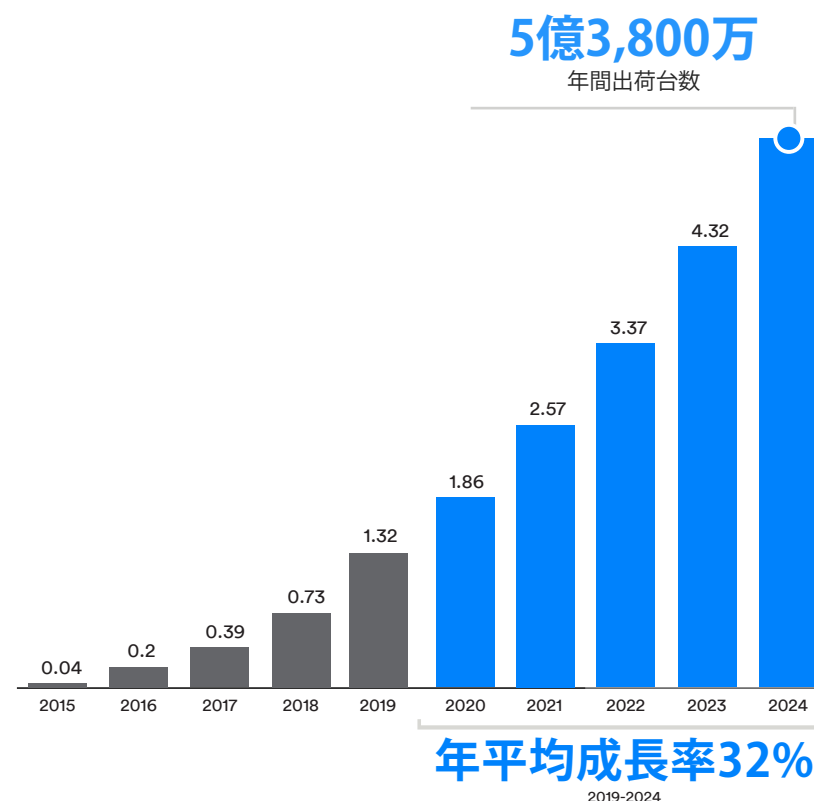
道案内 — Bluetoothによる屋内測位システム (IPS) は屋内GPSの標準として急速に普及し、入り組んだ施設内の道案内に貢献しています。



出入管理 — 自動車のドアロック解除、危険または極めて重要性の高い産業空間への出入管理による職場の安全性向上等で、Bluetooth技術がキー FOB やキーカードに替わりつつあります。

Bluetooth位置情報サービス機器の出荷台数

単位: 億台



出典: ABIリサーチ2020年

デバイスネットワーク

オーディオストリーミング

データ転送

位置情報サービス

デバイスネットワーク



オートメーションシステム — Bluetooth技術でHVAC（暖房・換気・空調）、照明、セキュリティ等、ビルに不可欠なシステムをオートメーション化し、省エネ活用や運転コスト削減、ビルのコアシステムの耐用年数の延長を図ります。



制御システム — ネットワークは、スマートビルディングやスマートインダストリーにおける高度な照明ソリューション等、数多くの制御システムでワイヤレス通信プラットフォームとして急速に採用が拡大しています。



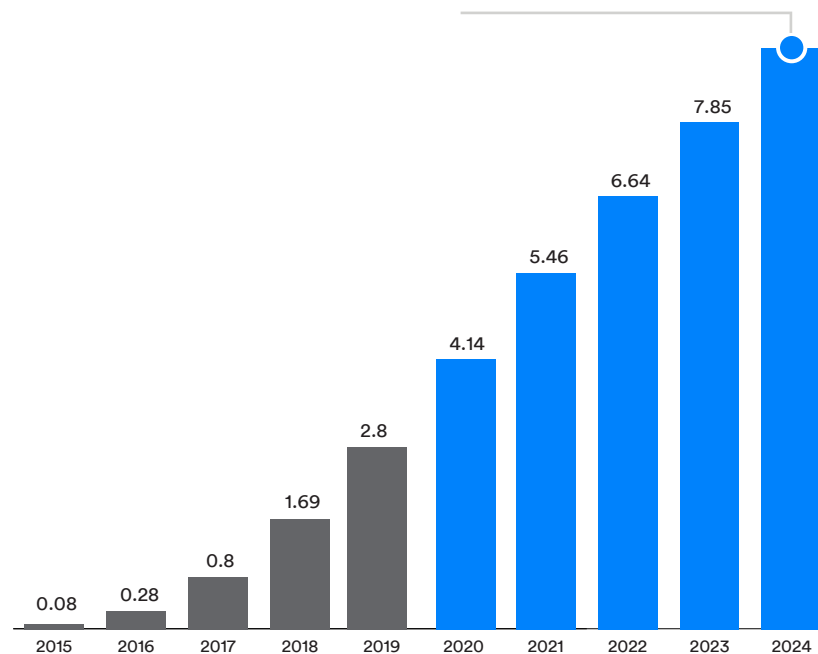
監視システム — Bluetoothワイヤレスセンサーネットワーク（WSN）は、従業員の生産性向上、運営コスト削減、生産設備の予定外の稼働停止の削減を図るため、環境要素を監視します。

Bluetoothデバイスネットワーク機器の出荷台数

単位：億台

8億9,200万

年間出荷台数



年平均成長率26%

2019-2024

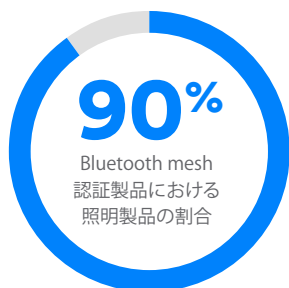
ソリューション分野別出荷台数

オーディオストリーミング

データ転送

位置情報サービス

デバイスネットワーク



Bluetooth meshネットワークが スマートビルディングの発展を推進

Bluetooth meshはコネクテッド照明から複雑なビルオートメーションシステムまで、あらゆるものの実現を推進しています。過去2年、認証製品は半年ごとに倍増しており、その勢いに衰えは見られません。

4倍

2024年までに
Bluetooth位置情報サービスの
デバイス数は4倍に

最も急速に伸びているソリューション分野は、 引き続き位置情報サービス

位置情報サービスへの需要が続き、道案内、資産追跡、探し物発見、出入管理等、Bluetooth技術を組み込んだソリューションが急増しています。

15億

2024年のBluetoothオーディオ
ストリーミング機器の
年間出荷台数

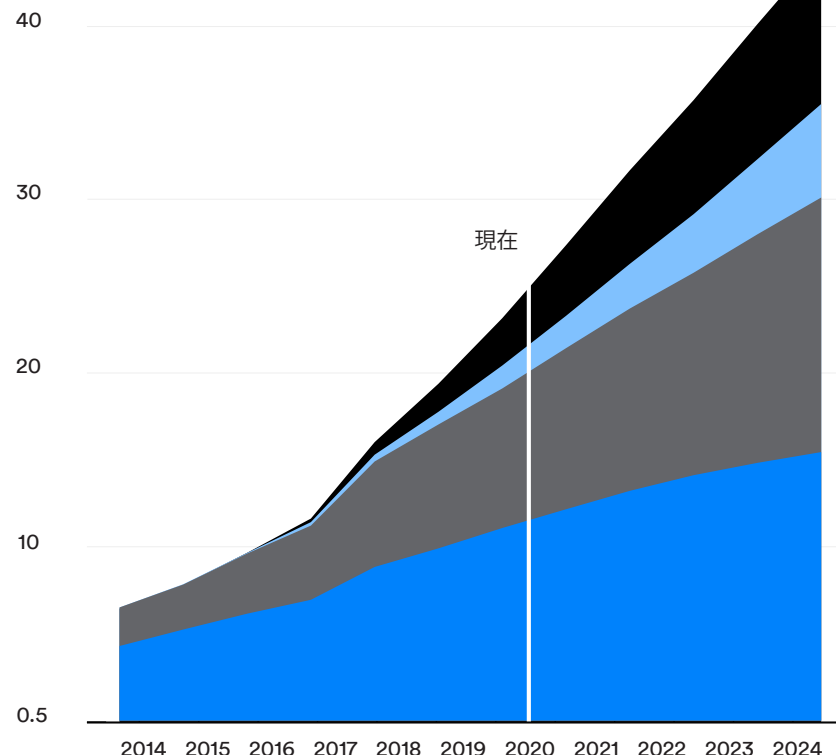
オーディオストリーミングが 市場の成長を推進し続ける

先日のLE Audioの発表と、Bluetoothオーディオシェアリングの登場で、今後5年もBluetooth対応デバイスの拡大を牽引するのはオーディオストリーミングであると見られています。

ソリューション分野別Bluetoothデバイスの 年間出荷台数*

単位：億台

オーディオストリーミング データ転送
位置情報サービス デバイスネットワーク



*スマホ、タブレット、PCは含まれません。出典：ABIリサーチ2020年



つながることがイノベーションを推進し、
イノベーションが市場を創造する

市場

スマホ、タブレット、PC

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

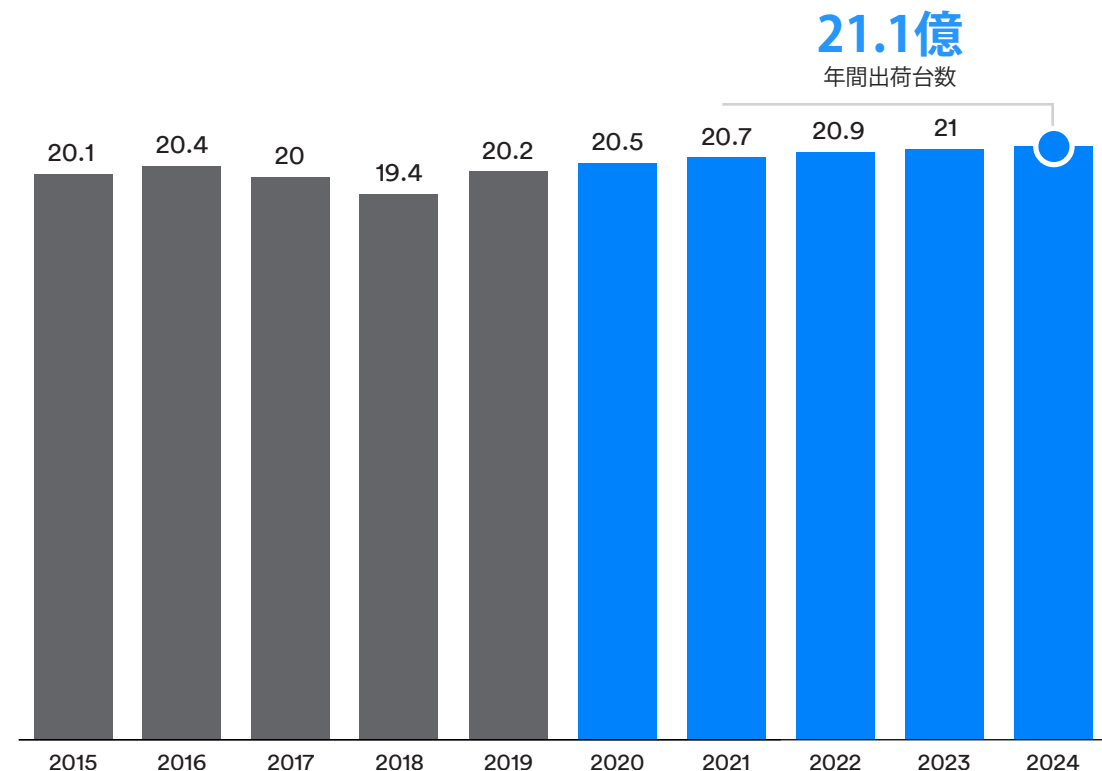
シティ

Bluetoothはパーソナルなワイヤレス接続の標準規格。新しいスマートフォン、タブレット、ノートパソコンの100%に搭載されるBluetooth技術は、ナビゲーションからオートメーション、コントロールまで、市場の動きに合わせ、常に新しい用途や最新の市場トレンドを取り入れています。

スマホ、タブレット、PC市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載スマホ、タブレット、PCの出荷台数

単位:億台



出典:ABIリサーチ2020年

スマホ、タブレット、PC

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

全プラットフォームでの
搭載が、活用機会を
最大化

100%

2024年の新しい
プラットフォームデバイスにおける
Bluetooth Classic+LE対応率

新しいスマートフォン、タブレット、ノートパソコンにはBluetooth技術が100%搭載されるため、開発するアプリケーションやソリューションに対しBluetoothを利用できる環境を保証できます。

スマートフォンの
Bluetooth技術が
位置情報サービスを推進

18億

2024年に位置情報サービスを利用する
Bluetooth対応スマートフォンの台数

屋内ナビゲーションと探し物発見からPOI情報サービスまで、位置情報サービスを利用するスマートフォンは2024年には18億台を超えると予想され、位置情報サービスはスマートフォンに不可欠なものになります。

アクセサリの
Bluetooth接続が標準に

70%

2024年にBluetooth技術を搭載する
アクセサリの割合

キーボード、マウス、スピーカー、ヘッドホンその他の周辺機器からケーブルをなくし、信頼性の高い、すっきりした使用感を実現する際に、開発者が頼りにしているのがBluetooth技術です。

スマートフォンによる
プロビジョニングが
メッシュの拡大を促進

3.2倍

2024年にはBluetooth
デバイスネットワーク機器の
年間出荷台数は3.2倍に

商業・産業環境における大規模デバイスネットワークのプロビジョニングとコントロールにBluetooth技術が採用され、モバイルディスプレイとしてスマートフォンやタブレットが、重要機材の日々の管理とモニタリングに使用されています。

オーディオ&エンターテインメント

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

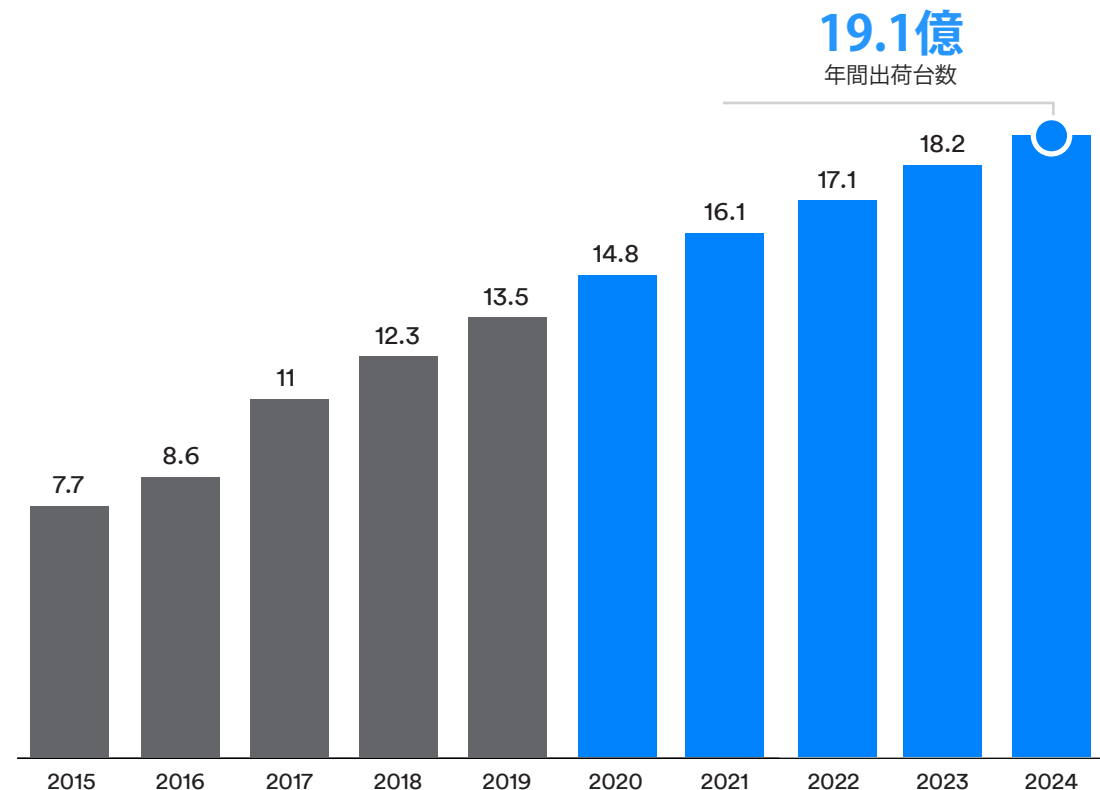
Bluetooth技術のおかげで、ケーブルを気にすることなく音楽やエンターテインメントが楽しめるようになりました。2020年のLE Audioの登場は市場の拡大を加速し、2024年にはオーディオ・エンターテインメント関連機器の年間出荷台数は20億近くに上ると予測されています。

オーディオ品質の向上と補聴器用機能の強化に加え、LE Audioでは私たちのオーディオ体験と、私たちと周囲の世界とのつながり方に再び変革をもたらす可能性を秘めた革新的な新機能「オーディオシェアリング」も新しく導入します。

オーディオ&エンターテインメント市場
について詳しくはこちら

Bluetooth搭載オーディオ& エンターテインメント機器の出荷台数

単位:億台



出典:ABIリサーチ2020年

オーディオ&エンターテインメント

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

Bluetooth搭載
オーディオ機器の年間
出荷台数が10億の台に

10億

2020年のBluetooth搭載
オーディオ機器の出荷台数

転げ落ちていくボールが加速を高めていくように、Bluetoothによるワイヤレスオーディオへの移行も引き続き勢いを増しています。設計時の選択肢の拡大からLE Audioまで、Bluetoothオーディオの採用も広がり続けています。

消費者に好まれるタイプ
として小型イヤホンが台頭

38%

2024年のワイヤレスイヤホンの
年間出荷台数の38%が完全ワイヤレス

新製品が発売され、機能の選択肢が拡大する中で、小型イヤホンとBluetooth技術の組み合わせが、真にワイヤレスなオーディオ体験を提供するとして、消費者に圧倒的な人気を誇っています。

ワイヤレススピーカーへの
移行は完了目前

9割

Bluetooth技術を搭載する
スピーカーの割合

ワイヤレスのポータブルスピーカーやサウンドバーの急速な普及は、ワイヤレスオーディオが消費者に好まれ、信頼されていることを示します。2024年にはスピーカーの97%近くが、Bluetooth技術を搭載すると予測されています。

オーディオ&
エンターテインメントで
Bluetooth LE技術の採用
が進む

2台に1台

2024年のオーディオ&
エンターテインメント機器の年間出荷台数の
2台に1台がBluetooth LEを搭載

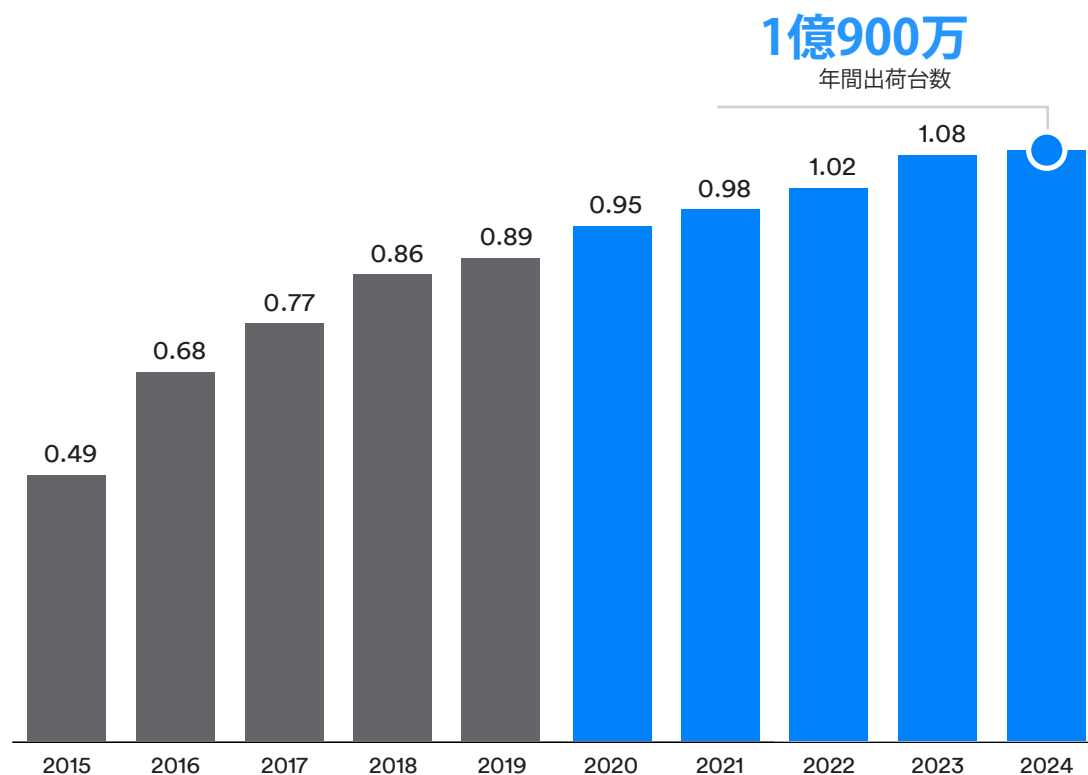
Bluetooth LEは、その利点と柔軟性によりデバイス検出、データ転送、そして新登場のLE Audioという複数の用途に対応できます。2024年に出荷されるオーディオ&エンターテインメント機器の半分は、Bluetooth LE技術を搭載すると予想されています。

Bluetooth技術は車とドライバーをつなぐことで、安全性、セキュリティ、利便性を新たな段階へと引き上げると同時に、車内の快適性も向上させています。低消費電力、性能強化、信頼性向上により、Bluetooth技術はキーレスエントリーや車載インフォテインメント等、車両の内外で自動車分野の標準規格となっています。

[自動車市場について詳しくはこちら](#)

Bluetooth搭載自動車関連デバイスの年間出荷台数

単位：億台



出典：ABIリサーチ2020年

[スマホ](#)[オーディオ](#)[自動車](#)[デバイス](#)[ビルディング](#)[インダストリー](#)[ホーム](#)[シティ](#)

Bluetooth技術は 新車のほとんどで標準装備

87%

Bluetooth技術を標準装備する
新車の割合

Bluetooth技術は工場出荷時とアフターマーケット市場で勢いを増し続け、現在では乗用車、トラック、SUV等、ほぼすべての新車に搭載されています。2024年には道路を走る全車両の2/3がBluetooth技術を搭載すると予想されています。

Bluetooth技術は キーレスエントリーの標準規格に

1,300万

2024年のBluetooth対応キー FOB
およびアクセサリの年間出荷台数

Bluetooth技術のおかげで、スマートフォンをキー FOB 代わりに使用するトレンドがますます広がっています。今後5年間にBluetoothのキー FOB やアクセサリの年間出荷台数は60%伸びると見られています。

車載センサーネットワークが 自動車分野で新しい用途を広げる

3台に2台

2024年には道路を走る車の3台に2台が
Bluetooth技術を採用

インフォテインメント、スマートキー、タイヤ圧監視、警告等のさまざまな用途で、ワイヤレスセンサーに対する需要が高まっています。将来的には、どの車にも4~6個のBluetooth対応センサーが装備されと考えられています。

コネクテッドデバイス

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

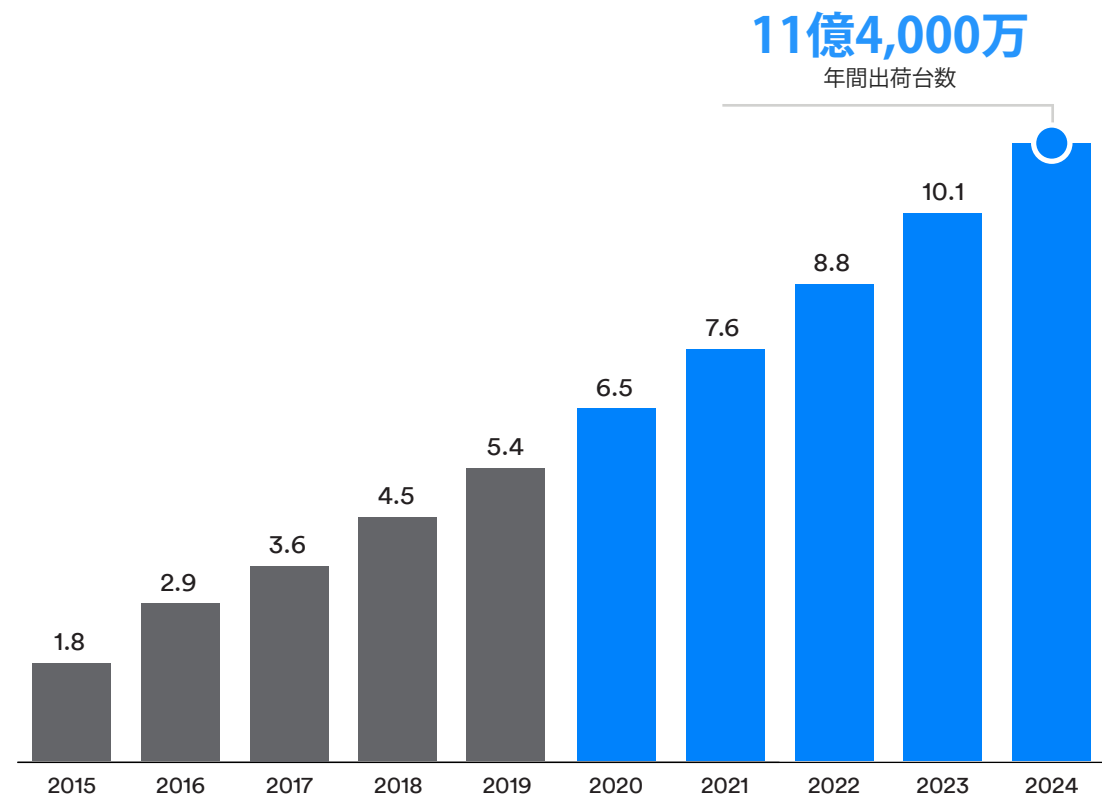
シティ

ツールからおもちゃ、歯ブラシまで、Bluetooth技術は数十億のデバイスを毎日つなぎ、データを情報に転換して今日のIoTを支え、コネクテッドデバイスを実現しています。あらゆるデバイスを接続する需要はますます広がりを見せ、その勢いが衰える兆しはありません。

コネクテッドデバイス市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載コネクテッドデバイスの出荷台数

単位: 億台



出典: ABIリサーチ2020年

コネクテッドデバイス

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

2024年までにスマートウォッチの
年間出荷台数は2倍に

1/3

2020年のBluetooth
コネクテッドデバイス市場における
デバイスの1/3はウェアラブル

コネクテッドデバイスの増加と共に、Bluetooth技術の進歩がウェアラブル分野の成長を推進していくでしょう。今後5年間で、スマートウォッチの年間出荷台数は1億1,900万に拡大すると見られています。

タグやトラッカーが
大きなマーケットシェアを獲得

1.3億

2024年のBluetooth対応の個人用タグ
および在庫トラッカーの年間出荷台数

位置情報サービスが日常生活に与える影響が拡大し続ける中、探し物発見や人員・ペットの所在追跡でタグの利用が高まっています。測位・位置情報サービスに利用されるタグの年間出荷台数は、2024年までに3.4倍になると予想されています。

Bluetooth技術であらゆる
デバイスがコネクテッドに

8,300万

2024年に出荷される、
従来のカテゴリーには分類されない
エンドポイントの数

IoTのアプリケーションやサービスにおいてBluetooth LEが多く利用されていることに疑いの余地はありません。ウェアラブル、タグ、トラッカー等、カテゴリーとして明確に定義されているデバイスの拡大が続く一方で、従来のカテゴリーには分類されないエンドポイントの数は、2019年の2,700万から、2024年には8,300万以上に増加すると見られています。

[スマホ](#)[オーディオ](#)[自動車](#)[デバイス](#)[ビルディング](#)[インダストリー](#)[ホーム](#)[シティ](#)

大規模でコネクテッドな照明ネットワークや正確な屋内位置情報サービスに対する需要の拡大によって、Bluetoothによるワイヤレス接続はスマートビルディングになくてはならない技術となりました。Bluetooth mesh認証製品が6カ月ごとに倍増する中、スマートビルディング市場の多様な用途に対応するBluetooth製品もますます増えています。

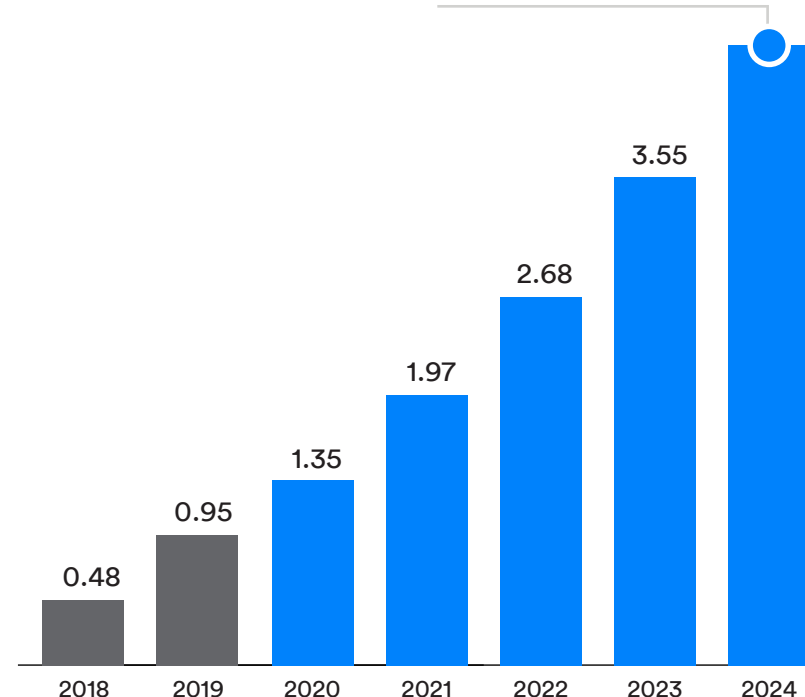
スマートビルディング市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載スマートビルディング関連デバイスの 出荷台数

単位: 億台

4億5,100万

年間出荷台数



スマートビルディング

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

スマートビルディングの予測で
大半を占めるのは
位置情報サービス

4.6倍

2024年にはBluetoothによる
スマートビルディングの
位置情報サービスデバイスは4.6倍に

Bluetoothは屋内での道案内、資産管理、
スペース活用で利用される標準技術に
なっています。

さまざまなスマートビルディングで
新しい位置情報サービスを実現する
Bluetooth技術は、運用の効率化とビルテ
ナントの快適性向上に役立っています。

Bluetooth meshネットワークが
コネクテッド照明を実現

90%

Bluetooth meshネットワーク認証を受ける
最終製品の90%は照明関係

大規模なワイヤレス照明ソリューション
に対する需要の拡大により、2028年
には18億台のコネクテッド照明器具が存
在することになると予測されていま
す。Bluetooth mesh認証製品が6カ
月ごとに倍増する中、今後もコネク
テッド照明の市場の勢いが減速する
兆しはありません。

資産追跡タグの需要は
製造業が牽引

2.17億

製造業で使用するBluetooth資産
追跡タグの2024年年間出荷台数

製造工場では、従業員と設備の安全衛
生にBluetooth技術を使用します。202
0年には6,600万個の資産追跡タグが
出荷され、過酷な環境や重要な資産を
ジオフェンシングで囲い、日常業務に
おいて機器や人が危険な場所に入らな
いようにするために利用されます。

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

産業向けIoT革命の不可欠な一部として、Bluetooth技術は製造業における生産性と安全性を新たな段階へ引き上げます。

位置情報の精度と技術的な頑強性の向上で、化学プラント等の環境における安全性とセキュリティ強化を図る商業・産業ソリューションを支え、導入・支援コストを削減し、効率化を推進します。

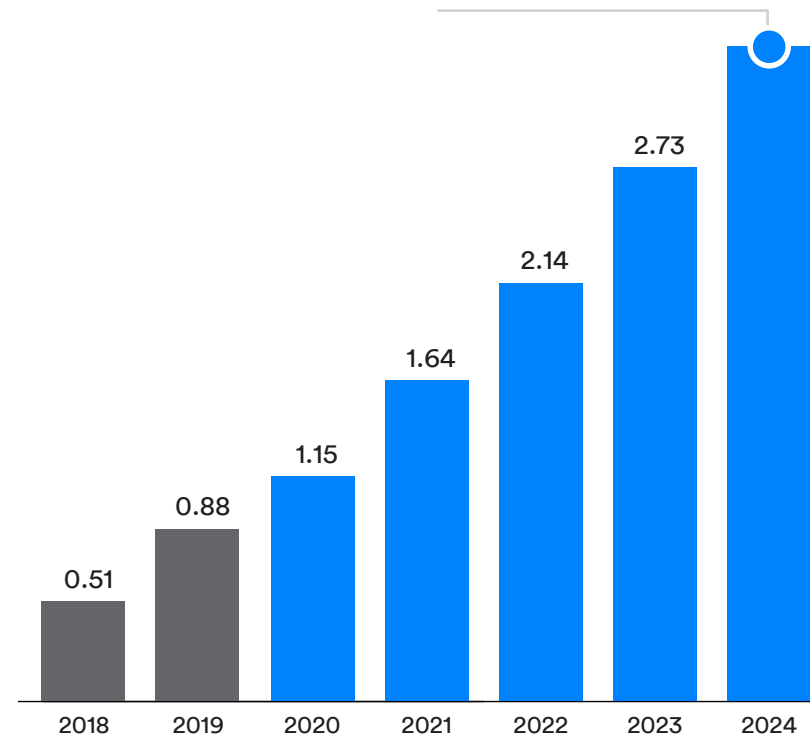
スマートインダストリー市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載スマートインダストリー関連デバイスの出荷台数

単位:億台

3億3,500万

年間出荷台数



スマートインダストリー

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

状態管理がセンサーネットワークの 需要を牽引

4倍

通信距離が4倍に広がったことで、
過酷な環境でも信頼性の高い接続を確保

通信距離や速度、データのアドバタイジングに関するBluetoothの最新のイノベーションにより、より充実した情報に基づいた意思決定を支えるデータを提供できるようになりました。各種の複雑な産業・商業環境における予知保全を支援します。

資産追跡に大きな弾み

4.2倍

2024年までにBluetooth資産
追跡タグの年間出荷数は4.2倍に

年平均成長率34%のBluetooth資産追跡タグは、商業・産業環境におけるリアルタイム位置情報システム (RTLS) による重要資産の追跡と管理を通して、スマートインダストリーにおける効率性を向上させます。

職場の安全性とセキュリティで Bluetooth技術が 重要な役割を果たす

60%

調査対象の60%が、
職場管理ソリューションを現在試用
または本格採用

米国労働安全衛生庁 (OSHA) は、最も多く見られる種類の労働災害と疾病および最も危険な業界と職場に集中的に取り組むことで、働く人々の安全向上を図ることを目標としています。出入管理、ジオフェンシング、人員追跡等、Bluetooth技術は施設内の人々の場所を監視し、危険区域に近づかせないようにすることで、安全とセキュリティの確保に役立ちます。

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

テレビをサウンドバーにつないだり、パソコンをキーボードにつないだりと、Bluetooth技術は何年も前からコネクテッドホームの中心にありました。

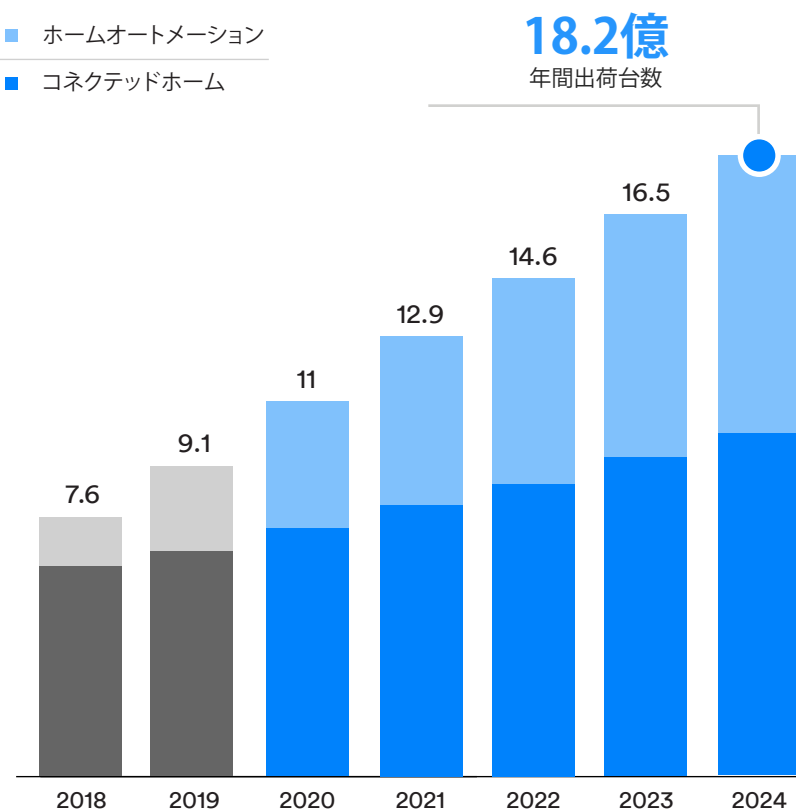
Bluetoothソリューションの信頼性とセキュリティ、相互運用性は、ホームオートメーションの可能性を最大限引き出すことに役立っています。音声制御プラットフォームの地域的な採用の急速な進展のおかげで、音声制御によるサービスを通したホームオートメーションが、将来的なスマートホーム市場の成長を推進しています。

スマートホーム市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載スマートホーム関連デバイスの出荷台数

単位:億台

- ホームオートメーション
- コネクテッドホーム



スマートホーム

マーケット予測

スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

スマートホームは
大きく飛躍するという予測

2倍

2024年には住宅用Bluetooth照明の
年間出荷台数が2倍に

スマートホームのオートメーション・制御については大きな飛躍が予測されています。照明制御とホームオートメーションがデバイス出荷の45%を占めることから、その大きな増大は5年間の予測期間を通して全体的な成長を大幅に促すと考えられています。

音声アシスタントデバイスが主流に

77%

2024年にはBluetoothによる
音声アシスタントデバイスの
年間出荷台数が77%増加

2024年には2億5,000万台に達すると見られている音声アシスタントデバイスの拡大は、スマートホーム市場の推進において中心的な役割を果たしています。制御機能とオートメーション機能が増え、これらのデバイスの100%でBluetooth技術が採用され、スマートホームは現実のものとなりつつあります。

スマートホームの予測を
牽引するのは引き続き
コネクテッドホーム

10億

2024年のBluetoothコネクテッドホーム
デバイスの年間出荷台数

今後5年でホームオートメーション・制御が飛躍的に成長すると予測される中、スマートホーム関連デバイスの出荷台数は引き続きリモコン、スピーカー、テレビ等のコネクテッドホームデバイスやその他の家庭用オーディオおよびエンターテインメント機器が大半を占めることになると予想されています。

Amazon、Alibaba、Google、Baidu、Xiaomi等の音声アシスタントデバイスにおけるBluetooth技術の採用拡大が、スマート照明、スマート家電、ドアロック、センサー等の数多くの種類における勢いと共に、この時期の成長の大きな部分を占めるでしょう。

[スマホ](#)[オーディオ](#)[自動車](#)[デバイス](#)[ビルディング](#)[インダストリー](#)[ホーム](#)[シティ](#)

Bluetooth技術は世界中の街をつなぎ、訪れる人々の体験を充実させます。そして、住民の生活の質を向上させ、企業活動を展開しやすい環境を提供しています。

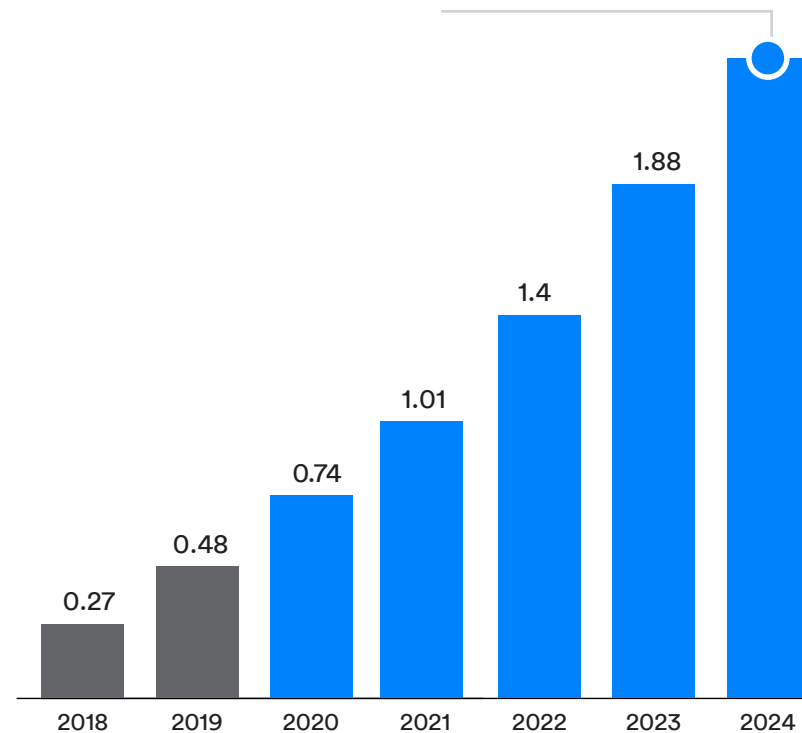
スマートシティ市場について
詳しくはこちら

Bluetooth搭載スマートシティ関連デバイスの出荷台数

単位:億台

2億3,400万

年間出荷台数



スマホ

オーディオ

自動車

デバイス

ビルディング

インダストリー

ホーム

シティ

Bluetooth技術が 未来のスマートシティをつなぐ

5倍

2024年までのスタジアムにおける
Bluetooth RTLS導入の増加率

Bluetoothによる位置情報サービスや大規模デバイスネットワークは、都市モデリング、環状都市、マイクロモビリティ、スマートスペース等、スマートシティにおける幅広い種類の用途を十分に支えることができます。

位置情報サービスの展開が 予測を先行

\$102億

2024年のグローバルなビーコン市場規模

空港、スタジアム、病院、小売モール、観光案内所、美術館等におけるBluetoothによる位置情報サービスは、スマートシティを訪れる人たちと街の関わり方を大きく変えていきます。同時に、資産管理ソリューションによってスマートシティの資源活用が進み、運用コストの低減に役立っています。

Bluetoothによるジオフェンシングが マイクロモビリティの展開を向上

4,500万

2024年のマイクロモビリティ車両の台数

自転車やスクーターも含むマイクロモビリティは、都市部・準都市部においてオンデマンド、ラストマイルの交通手段を提供します。ビーコンや地上センサーを使用すれば、ジオフェンシングで返却場所をどこにでも設定できるため、固定のドッキングステーションを設置する必要がありません。

どこでも利用でき、電動で走る便利なドックレスの電動自転車やスクーターのシェアリングの採用が、世界中で広がっています。
また、これほどではないものの、電動バイクのシェアリングも進められています。



最新情報・ニュースについては下記サイトをご覧ください

[bluetooth.com](https://www.bluetooth.com)